

消防吏員防火服（墜落制止用器具対応型上衣）仕様書

京都市消防局総務部施設課

（担当：奥西・菱野 212-6649）

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する消防吏員防火服（墜落制止用器具対応型上衣）（以下「防火服」という。）について必要な事項を定める。
- 2 この防火服は「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン2022」に適合した、外衣と內衣で構成される多層構造とし、外衣と內衣は各々縫製後、身頃一周をファスナーで一体化するものとする。ただし、袖口部及び裾部は面ファスナーで固定するものとする。
- 3 消防活動に適した機能と強度を有し、作業性と安全性を十分に確保するため、肩及び腕部の運動に対して抵抗が少なく、着用者が腕を上方に引き上げたときに、防火服本体が上方へずり上がりを起こさず、スムーズに運動できるYラインデザインとすること。
- 4 この防火服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分に検査が施され、この仕様の全てを満足し、仕上がりが優良な製品であること。
- 5 別表及び別図等に示す数値等で、特に定め等ない場合は、京都市消防局（以下「当局」という。）の承認を得たときは、数%の誤差は差し支えないものとする。
- 6 契約後速やかに工程表を提出し、当局の指示を受けること。
- 7 契約後速やかに本仕様書に基づく試作品を1着作成し、当局の試作品検査を受検すること。また、試作品検査時までには使用する主材料の品番及び本仕様書の全ての試験項目について、公的機関による試験結果を提出し、当局の承認を受けること。
- 8 サイズ別の寸法は別表3のとおりとする。
- 9 製品は1着ごとにビニール袋等に入れ、当局の指示に従い納入すること。
- 10 この仕様書に疑義が生じた場合又は変更が必要な場合は、その都度当局担当者と協議すること。

第2 調達数及びサイズ

(1) 調達数 120着

(2) サイズ

ア L	80着
イ LL	30着
ウ 3L	8着
エ 特寸（5L相当）	2着

第3 納入期限

令和7年9月26日（金）

第4 納入場所

消防局総務部施設課

京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450番地の2

第5 材料

1 遮熱性能

外衣・內衣を重ね合わせた状態でISO 9151に準じた試験による熱伝達指数が13秒以上であること。

2 外衣

(1) 外衣生地の組成

ア 生地

(7) 名称

a アルミ部分：K0BA-6 又は同等品

b 生地表部分：KB8227 又は同等品

(4) 番手

＃30

(7) 糸種別及び組織

a アルミ部分

PBO繊維（30%以上）と芳香族ポリアミド繊維65%（標準（うちパラ系芳香族ポリアミド繊維45%以上））の、平二重織にアルミニウム両面蒸着フィルム及び四フッ化エチレンコポリマーフィルムを接着加工すること。

b 生地表部分

PBO繊維（15%以上）と芳香族ポリアミド繊維85%（標準（うちパラ系芳香族ポリアミド繊維50%以上））。

(4) ゲージ数

18ゲージ／in

イ アルミニウム両面真空蒸着フィルム

(7) アルミニウムを両面に真空蒸着するフィルムの厚さは、6～12μmとすること。

(4) アルミニウムの純度は、99.99%以上のものを使用すること。

(7) 表面に使用するフィルムは、四フッ化エチレンコポリマーフィルムとし、その厚さは12～15μmとすること。

ウ 接着剤

接着剤は、水酸化アルミニウム入りの難燃接着剤等を使用すること。

(2) 外衣生地の積層

外衣生地の積層は、次のとおり5層とすること。

[生地表]

5	四フッ化エチレンコポリマーフィルム
4	接着剤
3	アルミニウム両面真空蒸着フィルム
2	接着剤
1	基 布

[生地裏]

(3) 外衣生地の規格

外衣生地の規格は、別表1のとおりとすること。

(4) 用途

アルミ生地は、防火服の身頃、袖、ポケット、小物フック、カラビナフック、衿及び無線機フックとすること。

生地表は、防火服の肩当て、脇、後裾とすること。

3 內衣

內衣は、透湿防水層及び断熱層により構成され、各々縫製後、袖口と身頃一周で縫い合わせ一体とすること。

(1) 透湿防水層

メタ系及びパラ系全芳香族ポリアミド繊維混紡の基布にフッ素樹脂多孔質フィルム加工したものとし、防水及び透湿の効果が得られる構造とすること。

ア 表側生地

芳香族ポリアミド繊維織物 100%

イ 中層フィルム

フッ素樹脂多孔質フィルム等の透湿防水性を有するもの

(2) 断熱層

断熱層はメタ系全芳香族ポリアミド繊維主体基布に、パラ系全芳香族ポリアミド繊維の糸をストライプ状に配置した形状とし、空気層を有効に得られる構造とすること。

(3) 內衣生地の規格

內衣生地の規格は、別表 1 のとおりとすること。

4 積層質量

外衣生地及び內衣生地の積層重量は 650 g/m²以下とすること。

5 補助材料

補助材料の規格及び用途等は、別表 2 のとおりとすること。

第 6 縫製

1 縫製は、防火服としての強度を確保できるものとすること。

2 糸調子等は、良好であるものとすること。

3 各部の縫合は、優良で縫い代が適当であること。

4 縫い目の飛び外れがないこと。

5 各部の合票、曲線には十分注意すること。

6 布目は、パターン指定どおりとすること。

第 7 構造等

1 形状

形状等は、別図 1 及び 2 のとおりとすること。

2 外衣

(1) 身頃は、左右前身頃、背部及び左右肩部から構成すること。

(2) 袖は、上袖、下袖及びマチ部から構成すること。

(3) 袖付けは、別図 1 のように左右袖の先端部が首部より次第に上方へ向くように傾斜させて取り付ける Y ライン袖付けとすること。

(4) 袖口には、袖締めバンド（共布）を挟み縫いすること。

(5) 袖締めバンドの形状及び寸法は別図 3 のとおりとすること。

(6) 肩部には立体的に質量 280 g/m²以上のパラ系全芳香族ポリアミド 100% のフェルトを 2 枚重ねし、肩当てを外衣生地表にて挟み、縁にオレンジ反射パイピングを縫製すること。

(7) 前合わせは、ファスナーと面ファスナーを用いた開閉式とし、水除けを取り付ける。ただし、取手を取り付ける等、容易に着脱できる措置を講じること。

(8) 左右身頃下部には平衡に、側面及び底辺部をふうきん付きとした雨ぶた（面ファスナー式）付アウトポケットを取り付け、底辺部には水抜き用ハトメを２個ずつ設けること。

ポケット底部はゴム引きの素材とすること。ポケットの縫い糸は、ダブルステッチとすること。

(9) 衿の表は、メタ系芳香族ポリアミド繊維、パラ系芳香族ポリアミド繊維、PBO繊維を混紡した生地と共重合パラ系芳香族ポリアミド繊維を約3mm(±10%)の間隔で格子状に入れたものとし、衿の裏は外衣共布を用い、耐熱ゴム引布を芯地とすること。

なお、衿の前合わせは、外衣の前合わせファスナーと同一とし、面ファスナーを用いた開閉式とし、水除けを取り付けること。

(10) カラビナ用フックは左右前身頃下部ポケットの上に１個ずつ設ける。

(11) 別図１及び２のとおり左右胸部、裾、袖及び背中の各表面に反射布を縫い付けること。

なお、背中の表面に縫い付ける反射布は、別図４を参照に『京都市消防局』の文字を２色で反射印刷したものとする。背中裾部分にも、別図５を参照に２色で反射印刷したものとする。

(12) 左右両胸部に携帯無線機のプレストークを掛けるフックを取り付けること。

(13) 別図６のとおり左上腕部に腕章を取り付けるホック（ドットボタン、オス）を３個設け、ホック取り付けに伴う漏水処理を施すこと。

なお、ホックの取付位置は、腕章着用時において、腕章が水平になるように調整して決定するものとする。

(14) 衿中央部内側に十分な強度を持った衿吊を取り付けること。

(15) 脇下のマチ部分は、衿表の生地と同じ生地とすること。

(16) 両胸の指示する位置に雨ぶた（面ファスナー式）付アウトポケット（縦17±1cm、横11±1cm）を付けること。

なお、アウトポケットの側面及び底辺部は、ふうきん付きとし、底辺部に水抜き用ハトメを１個取り付ける。ポケットの縫い糸は、ダブルステッチとすること。

3 內衣

外衣と內衣は、各々縫製後袖口と身頃一周で取り外しできるものとし、裾部は、縫い付けずに一部を面ファスナーで止めること。

(1) 身頃は、左右前身頃、後身頃及び左右肩部で構成するものとする。

(2) 外衣との取付方法は、ファスナーで着脱できるものとする。

(3) 袖は、上袖、下袖及びマチ部から構成するものとする。

(4) 袖口は、面ファスナーで外衣に取り付けること。

(5) 防水層の縫い目は、目止め加工を施すこと。

(6) 內衣断熱層の裾部に、約5cm幅のゴム引き防水生地を一周縫い付けること。

4 表示

外衣・內衣の各内側の適当な位置に下図の例をもとに表示札（横7～8cm×縦10～11cm）を取り付けること。

図

サイズ		京 都 市 消 防 局
製造番号		
氏名		
製造業者名		

別表 1

防火服生地規格

試験項目	品名		試験方法又は試験内容	仕様規格	
耐炎性 (積層生地の裏表及びリストレット)	外衣	積層生地	ISO 15025:2016 A 法 (表面着火)	上部・端部火炎伝播、穴あき、燃焼飛散、熔融、滴下なし	
				残炎時間	0 秒
				残じん	無し
熱伝達性 (火炎ばく露)	外衣	積層生地	ISO 9151:2016 前処理後	HTI24 $\geq$ 1 8 秒 HTI24-HTI12 $\geq$ 5 秒	
熱伝達性 (放射熱ばく露)	外衣	積層生地	ISO 6942:2002 B 法 40kW/m ² 前処理後	RHTI24 $\geq$ 3 2 秒 RHTI24-RHTI12 $\geq$ 1 2 秒	
熱伝達性 (火炎・放射熱同時ばく露)	外衣	積層生地	ISO 17492:2003 前処理前後	TTI $\geq$ 1050 kJ/m ²	
耐熱性	外衣 內衣	表地 透湿防水層 断熱層	ISO 17493:2016 前処理前後 1 8 0℃ 5 分	熔融、滴下、分離、発火なし 熱収縮率 $\leq$ 3 %	
引張抵抗	外衣	表地	ISO 13934-1:2013	引張強度 $\geq$ 3 0 0 0 N	
引裂抵抗	外衣	表地	ISO 13937-2:2000	引裂強度 $\geq$ 3 9 0 N	
縫目強度	外衣	表地	ISO 13935-2:2014	織地 $\geq$ 4 0 0 N	
耐水性	內衣	透湿防水層	JIS-L-1092:2009 B 法高水压法 初期 20 回洗濯後	耐水度 $\geq$ 294kPa	
はっ水性	外衣	表地	ISO 4920:2012 前処理後	はっ水度 $\geq$ 5 級	
耐吸水性	外衣	表地	ISO 11613:2017 7.1.9 修正法 前処理前後	吸水率 $\leq$ 1 5 %	
液体化学薬品 耐浸透性	全層	一括測定	ISO 6530:2005 40% 水酸化ナトリウム 36% 塩酸 37% 硫酸 0-キシレン (無希釈)	浸透指数 0 反発指数 > 8 0 %	
洗濯堅牢度	外衣 內衣	表地 透湿防水層 断熱層	JIS-L-0844 2011 A2 法	4 級以上	
生地質量	外衣	表地	JIS-L-1096:2016 (洗濯前)	6 5 0 g/m ² 以下	

※その他、令和 4 年 3 月に改定された消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに準ずること

別表 2

防火服補助材料規格

品名	規格	用途	
面ファスナー	黒色 高さ50(±3)mm 幅220(±3)mm	下部ポケット	雨蓋内側
	黒色 高さ50(±3)mm 幅50(±3)mm		ポケット外側
	黒色 高さ50(±3)mm 幅80(±3)mm	上部ポケット	雨蓋内側
	黒色 高さ50(±3)mm 幅80(±3)mm		ポケット外側
オープンファスナー	コイルファスナー	內衣取付用	
	コイルファスナー長さ50(±3)cm	前合せ	
芳香族ポリアミド	メタ系芳香族ポリアミド繊維、パラ系芳香族ポリアミド繊維、PBO 繊維の三者を混紡した生地に、共重合パラ系芳香族ポリアミド繊維を約3mm(±10%)の間隔で格子状に入れたものとする。 紺又は濃灰色系色220g/m ² (±10g)	衿表、脇下マチ、肩当て部	
耐熱ゴム引布	基布にアルミニウム粉末を混入した合成ゴムを片面加工	衿芯	
フェルト	パラ系全芳香族ポリアミド100% 280g/m ² 以上	肩当てパット	
反射布	住友3M(株)製No. 9586 蛍光レッド・オレンジ×シルバー76(±3)mm 幅または同等品 ※別図1及び2のとおり	左右胸部、裾一周、両袖、背面	
標示	425×150mm(±3mm)の反射材(レッド)にゴシック体で黒文字印刷、シルバー縁 指定文字『京都市消防局』 ※別図4参照	背部	
	生地表にゴシック体でオレンジ印刷、シルバー縁 指定文字『KYOTO CITY』 ※別図5参照	裾部	
座付ハトメ	#500	ポケット水抜き用	
標示布	ポリエステル製	外衣裏面、內衣裏面	
縫製糸	芳香族ポリアミド30番	ほつれ止めを除く	

別表 3

(単位：cm)

(許容差：+2、-1)

防火服サイズ表

サイズ	前丈	総丈	胸囲	衿丈	袖口幅	適応身長
S	65	73	116	77	16	160～165
M	68	76	120	80	16	165～170
L	72	80	124	83	16	170～175
LL	76	84	130	86	16	175～180
3L	80	88	136	89	16	180以上
4L	83	91	142	92	16.5	180以上
特寸	上記サイズに著しく相違するものに限る。(別途採寸)					

防火服（前面）

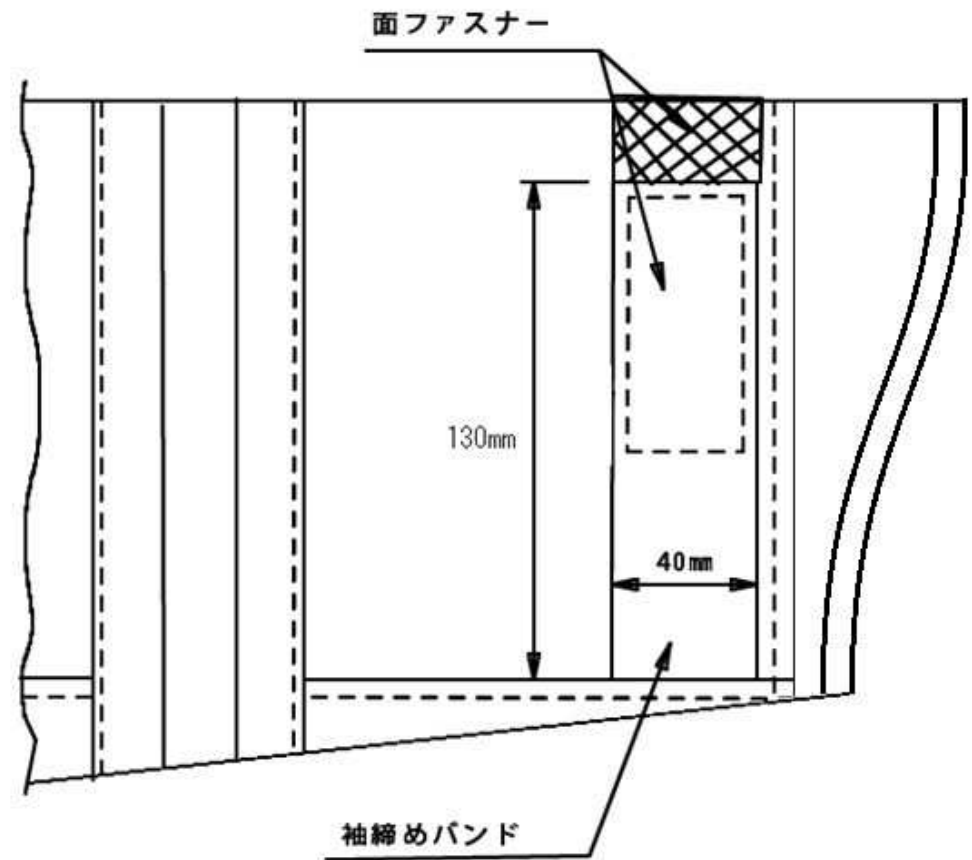
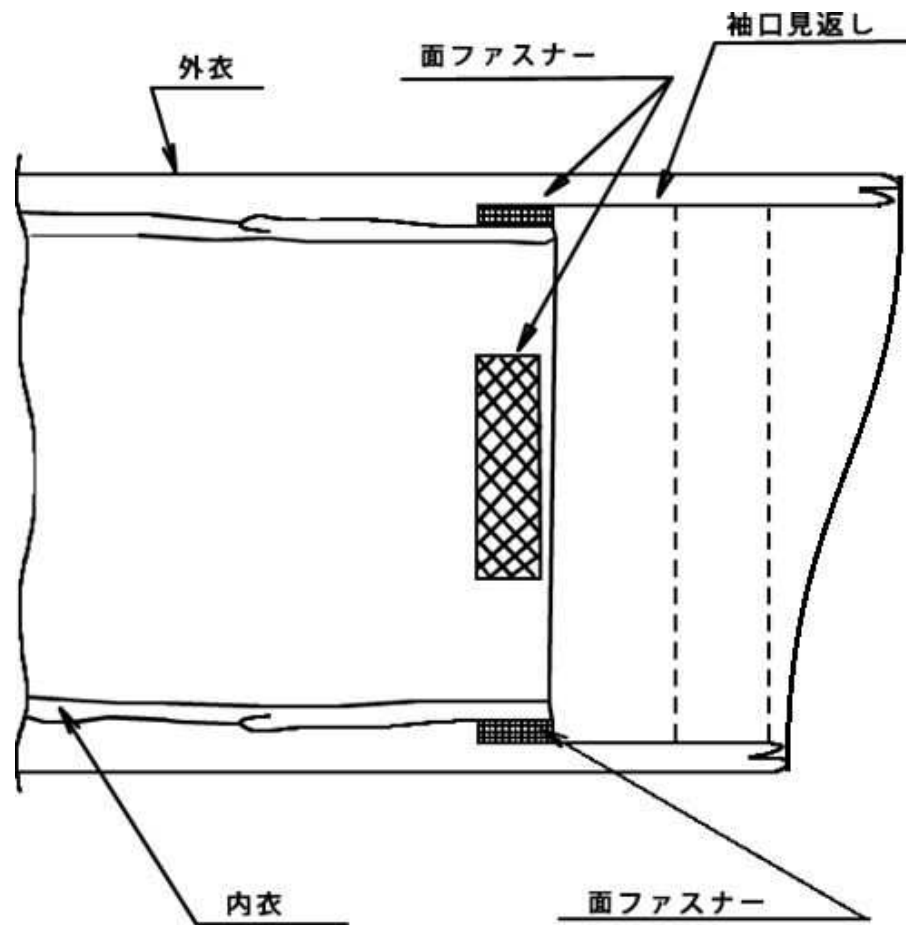


別図 2

防火服（背面）



袖口及び袖先部



別図4

(単位：mm)
(許容誤差±5)

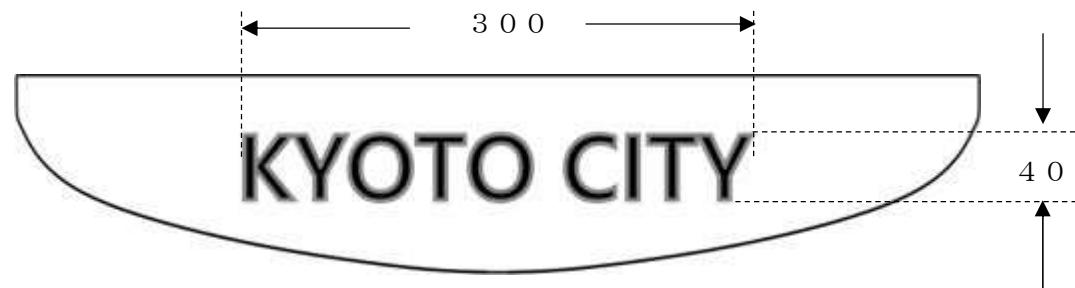
文字色：黒
縁色：シルバー
フォント：ゴシック体



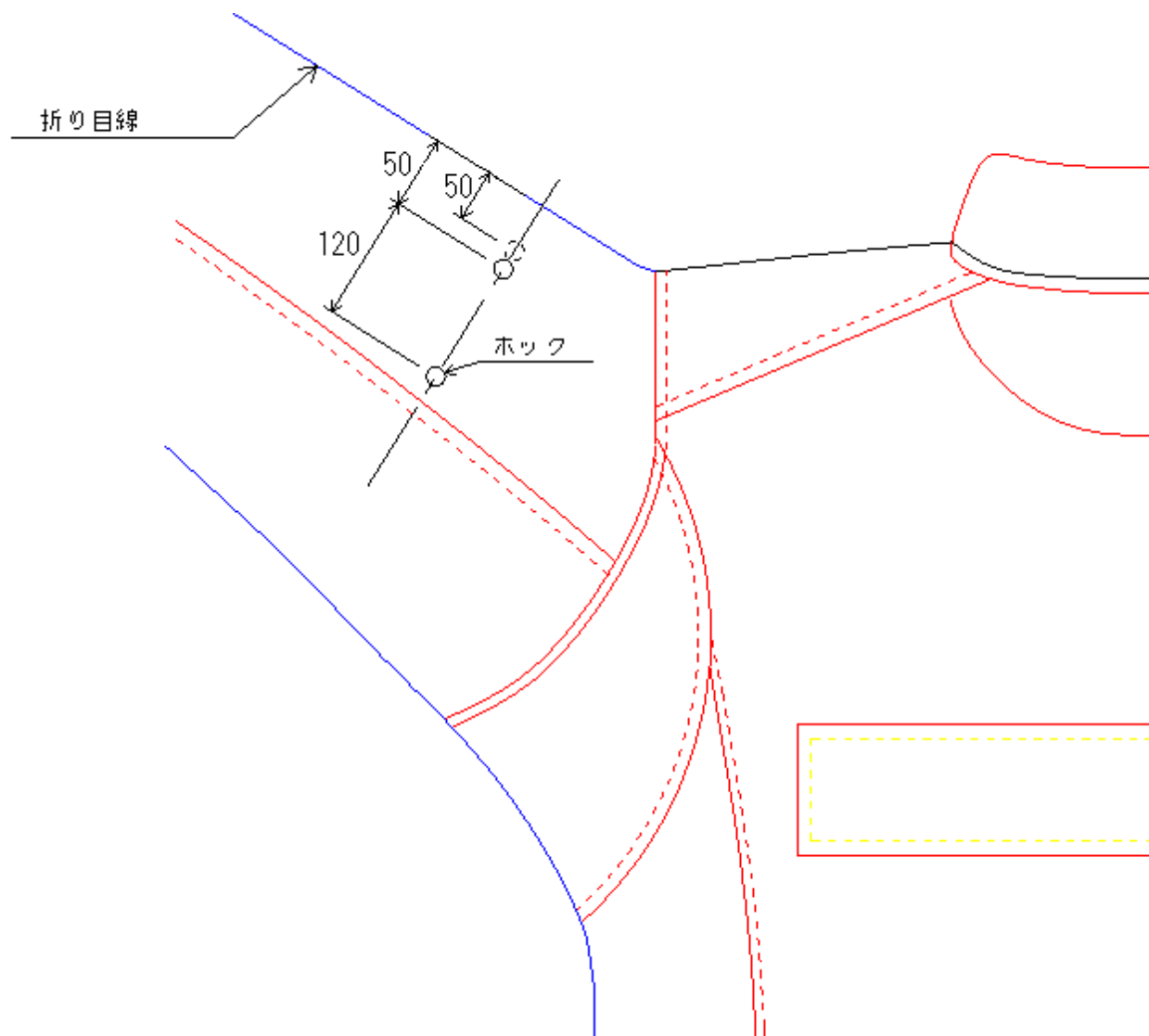
別図5

(単位：mm)
(許容誤差±5)

文字色：オレンジ
縁色：シルバー
フォント：ゴシック体



ホック取付図（背面）



消防吏員防火服（墜落制止用器具対応型ズボン）仕様書

京都市消防局総務部施設課

（担当：奥西・菱野 212-6649）

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する消防吏員防火服（墜落制止用器具対応型ズボン）（以下「防火ズボン」という。）について必要な事項を定める。
- 2 この防火ズボンは「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン2022」に適合した、外衣と內衣で構成される二層構造とし、膝部及び裾口内側に補強布を縫製した立体裁断の長ズボンとする。
- 3 消防活動に適した機能と強度を有し、作業性能と安全性を十分に確保するため、着用者が屈伸しても、臀部がずり下らず、膝の上下運動がスムーズにできること。
- 4 この防火ズボンに使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分に検査が施され、この仕様の全てを満足し、仕上がりが優良な製品であること。
- 5 別表及び別図等を示す数値等で、特に定め等ない場合は、京都市消防局（以下「当局」という。）の承認を得れば、数%の誤差は差し支えないものとする。
- 6 契約後速やかに工程表を提出し、当局の指示を受けること。
- 7 契約後速やかに本仕様書に基づく試作品を1着作成し、当局の試作品検査を受検すること。また、試作品検査時まで使用する主材料の品番及び本仕様書の全ての試験項目について、公的機関による試験結果を提出し、当局の承認を受けること。
- 8 サイズ別の寸法は別表3のとおりとする。
- 9 製品は1着ごとにビニール袋等に入れ、当局の指示に従い納入すること。
- 10 この仕様書に疑義が生じた場合又は変更が必要な場合は、その都度当局担当者と協議すること。

第2 調達数及びサイズ

- 1 調達数 ネイビー色 160本
- 2 サイズ
 - (1) M70 25本
 - (2) M75 25本
 - (3) L70 30本
 - (4) L75 60本
 - (5) L80 5本
 - (6) L85 3本
 - (7) LL75 10本
 - (8) 3L75 2本

第3 納入期限

令和7年9月26日（金）

第4 納入場所

消防局総務部施設課

京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450番地の2

第5 材料

1 遮熱性能

当局が採用している活動服ズボン（活動服生地材料は別添のとおりとする。）と合せた状態でISO9151に準じた試験による熱伝達指数が、次のとおりであること。

- (1) 膝パット部分については、13秒以上であること。
- (2) その他の部分については、当局が使用する夏活動服の生地を含む状態で15秒以上であること。

2 外衣

(1) 外衣生地Aの組成

メタ系芳香族ポリアミド繊維、パラ系芳香族ポリアミド繊維及びPBO繊維の三者を混紡した生地に、共重合パラ系芳香族ポリアミド繊維を約3mm(±10%)の間隔で格子状に入れたものとする。

ア 番手

#30/2

イ 組織

綾織

(2) 外衣生地Bの組成

PBO繊維（15%以上）と芳香族ポリアミド繊維85%（標準（うちパラ系芳香族ポリアミド繊維50%以上））の、平二重織にアルミニウム両面蒸着フィルム及び四フッ化エチレンコポリマーフィルムを接着加工すること。

ア 番手

#20/2

イ 組織

ニット

ウ ゲージ数

18ゲージ/in

エ アルミニウム両面真空蒸着フィルム

(7) アルミニウムを両面に真空蒸着するフィルムの厚さは、6～12μmとすること。

(4) アルミニウムの純度は、99.99%以上のものを使用すること。

(9) 表面に使用するフィルムは、四フッ化エチレンコポリマーフィルムとし、その厚さは12～15μmとすること。

オ 接着剤

接着剤は、水酸化アルミニウム入りの難燃接着剤等を使用すること。

3 透湿防水層

芳香族ポリアミド繊維の生地に透湿防水加工を施したもので、組成は次のとおりとすること。

(1) 表側生地

芳香族ポリアミド繊維織物100%

(2) 中層フィルム

フッ素樹脂多孔質フィルム等

4 断熱層

芳香族ポリアミド繊維の生地 メタ系アラミド95%、パラ系アラミド5%

格子部にメタ系アラミド62% パラ系アラミド3% 難燃レーヨン35%
を使用した断熱層を設ける。

5 膝部・裾部補強生地

芳香族ポリアミド繊維の生地ゴム引きコーティング加工した生地とすること。

なお、膝部の補強箇所については、別途指示する。

6 規格

各生地及び補助材料の規格は、別表1及び2のとおり、又は、同等以上の機能を有するものとすること。

第6 縫製

1 縫製は、防火ズボンとしての強度を確保できるものとすること。

2 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。

3 各部の縫合は、優良で縫い代が適当であること。

4 縫い目の飛び外れがないこと。

5 各部の合票、曲線には十分注意すること。

6 布目は、パターン指定どおりとすること。

第7 構造等

1 形状

別図に示すとおりとすること。

2 構造

(1) 消防活動時の作業性及び機能性を向上させ、運動に対する抵抗を少なくするために、左右腰部及び左右大腿部からなる本体部に下腿部を連結した仕立てとし、臀部には脚曲げ余裕分をとり、連結部の前部には膝曲げ余裕分を確保できる構造とすること。また、股及び膝部等の運動に対し、抵抗が少なく、ズボンのずり下がりを防ぐ構造とすること。

(2) 腰部及び大腿部は、左右前身頃及び左右後身頃各1枚の計4枚とし、下腿部は左右前身頃上下各1枚及び後身頃上下各1枚の計8枚の仕立てとすること。

(3) 下腿部下部前身頃及び後身頃の基布は、外衣生地Bを使用し、他の部分については、外衣生地Aを使用すること。

(4) ウエストは、D環2個を取り付けたウエストベルトで調整できる構造とし、ウエストベルトD環部に取り付けた舌によって、容易に緩められるものとすること。また、ズボン後部側のコキ尾錠等により、長さを自由に調整できること。

(5) 腰部には、背中央、左右前の計3箇所に墜落制止用器具通しを共布3枚重ねで縫い付けること。その内前面3個はホック付きとし、容易に墜落制止用器具が落ちない構造になっていること。

(6) 左右身頃に雨ぶた（面ファスナー式）付アウトポケットを付ける。アウトポケットの側面及び底辺部は、ふうきん付きとし、底辺部に水抜き用ハトメを2個取り付けること。雨ぶたは2枚に分かれる構造とし、墜落制止用器具のロープ部分を収納してもふたが閉まっている構造になること。

(7) 前立て部は、コイルファスナー、押しホック及び前環で止める構造とし、ファスナースライダー引手には、3cm以上7cm以下の容易に破損しない引紐を装着すること。

- (8) 膝部・裾部には補強生地を縫い付けること。
- (9) 左右裾口は、長さ33cmの金属ファスナーを取り付けた開閉式とすること。
- (10) 左右アウトポケット雨ぶたの横（股側）に、カラビナ取付け用のループを設けること。
- (11) 左右裾口に反射テープを縫い付けること。
- (12) 裾口は、面ファスナー付裾ベルトで締め付けられる構造とすること。
- (13) 縫い合わせ部分は、裏面から目止めテープを用いて防水加工を施すこと。

3 表示

- (1) 表示札（縫い付けラベル）

下図の例をもとに表示札（横7～8cm×縦10～11cm）を黒の不滅インクで片側印刷すること。

図

サイズ		京 都 市 消 防 局
製造番号		
氏 名		
製造業者名		

- (2) 縫い付け位置

身頃内側の見えやすい位置に縫い付けること。

防火ズボン生地等規格

別表 1

種類		試験項目等	試験方法又は試験内容等	仕様規格等	
主要生地	外衣生地 A・B 共通	耐炎性	ISO 15025:2016 A 法(表面着火)	上部・端部火炎伝播、穴あき、燃焼飛散、熔融、滴下なし	
				残炎時間	0 秒
				残じん	無し
		耐熱性	ISO 17493:2016 前処理前後 180℃ 5 分	熔融、滴下、分離、発火なし	
		縫目強度	ISO 13935-2:2014 (グラブ法)	熱収縮率 ≤ 3 %	
		はっ水性	ISO 4920:2012 前処理前	織地 ≥ 400N	
	外衣生地 A	耐吸水性	ISO 11613:2017 7.1.9 前処理前後	はっ水度 ≥ 5 級	
		液体化学薬品 耐浸透性	ISO 6530:2005 40% 水酸化ナトリウム 36% 塩酸 37% 硫酸 0-キシレン (無希釈)	吸水率 ≤ 15 %	
		混用率	JIS-L-1030	(地組織部) メタ系芳香族ポリアミド 40% パラ系芳香族ポリアミド 45~50% PBO 繊維 10~15% その他制電性繊維を含むこと (格子部) パラ系芳香族ポリアミド繊維 黒原着糸 100%	
		使用番手	JIS-L-1096	縦	30/2S
		組織		横	30/2S
		生地質量 (g/m ²)		綾織	
		密度 (本/2.54cm)		490 以下	
		貫通強度 (N)	耐切削性試験 一般財団法人カケンテストセンター	縦	72 以上
		切断強度 (N)		横	51 以上
		平面磨耗		3.8 以上	
		熱伝達性 (火炎ばく露)	ISO 9151:2016 前処理後	縦	7.0 以上
		熱伝達性 (放射熱ばく露)	ISO 6942:2002 B 法 40kW/m ² 前処理後	横	6.5 以上
		引張抵抗 (N)	ISO 13934-1:2013 (ストリップ法)	JIS-L-1096 ユニバーサル形法 (平面法) A-1 法耐水研磨紙 P1200C-CW 押圧荷重 4.45N	
		引裂抵抗 (N)	ISO 13937-2:2000 B 法 (タング法)	HTI24 ≥ 15 秒 HTI24-HTI12 ≥ 4 秒	
		色	色目については当局の承認を得ること。	RHTI24 ≥ 20 秒 RHTI24-RHTI12 ≥ 6 秒	
	外衣生地 B	厚さ (mm)	JIS-L-1018	織地 ≥ 2700	
		重量 (g/m ²)		織地 ≥ 350	
		熱伝達性 (火炎ばく露)	ISO 9151:2016 前処理後	濃灰系又はオレンジ系	
		熱伝達性 (放射熱ばく露)	ISO 6942:2002 B 法 40kW/m ² 前処理後	0.5 以上	
		引張抵抗 (N)	ISO 13934-1:2013 (ストリップ法)	360 以下	
		引裂抵抗 (N)	ISO 13937-2:2000 B 法 (タング法)	HTI24 ≥ 18 秒 HTI24-HTI12 ≥ 5 秒	
		生地質量 (g/m ²)	JIS-L-1096	RHTI24 ≥ 32 秒 RHTI24-RHTI12 ≥ 12 秒	
		色	色目については当局の承認を得ること。	織地 ≥ 3000	
	透湿防水層	引張強度 (N)	JIS-L-1096 A 法 (ラベル・ストリップ 法)	織地 ≥ 390	
		引裂強度 (N)	JIS-L-1096 A-1 法 (シングルタング 法)	630 以下	
		燃焼性	JIS-L-1091 A-1 法	シルバー系	
		耐水性	JIS-L-1092:2009 B 法高水圧法	縦	
		透湿度 (g/m ² ・h)	JIS-L-1099 B-2 法	横	
	膝部・裾部補強生地	混用率		400 以上	
		燃焼性	JIS-L-1091 A-1 法 45° 法	400 以上	
		質量 (g/m ²)		縦	
		平面磨耗	JIS-L-1096 ユニバーサル形法 A-1 法 (平面法) 法研磨紙 CC240-CW 押圧荷重 4.45N	横	
	縫糸	耐熱性	ISO 17493:2000 又は JIS-T-8023:2006 260℃ 5 分	45 以上	
				45 以上	

品名	規格	用途
ファスナー	止 金属製 長さ 33 (±1) cm	裾ファスナー
ファスナー	止 コイルファスナー 長さ 22 (±1) cm	前立て
面ファスナー	黒色 幅 17 (±3) mm	ポケット
面ファスナー	黒色 幅 45 (±3) mm 幅 95 (±3) mm	ポケット雨ぶた
ナイロンバンド	黒色 幅 30 (±3) mm	ウエストベルト
D環	38 (±3) mm 樹脂製	ウエストベルト
押しホック	#7050 黄銅製ニッケルメッキ	前立て
座付ハトメ	#500	ポケット水抜き用
反射布	スリーエムジャパン株式会社製 N09586 蛍光レッド・オレンジ×シルバー 76 mm幅 又は同等品	
標示布	ポリエステル製	標示布
縫製糸	芳香族ポリアミド30番	ほつれ止めを除く

防火ズボンサイズ表 (単位: cm)

サイズ		総丈	股下	胴廻	裾口幅	適応身長・胴廻
S	6 0	8 8	6 0	8 3	2 1	1 6 0～1 6 5 7 3～7 8
	6 5	9 3	6 5			
M	6 5	9 4	6 5	8 9	2 1. 5	1 6 5～1 7 0 7 8～8 3
	7 0	9 9	7 0			
	7 5	1 0 4	7 5			
L	6 5	9 5	6 5	9 4	2 2	1 7 0～1 7 5 8 3～8 9
	7 0	1 0 0	7 0			
	7 5	1 0 5	7 5			
	8 0	1 1 0	8 0			
	8 5	1 1 5	8 5			
L L	7 0	1 0 1	7 0	1 0 4	2 2. 5	1 7 5～1 8 0 8 9～9 9
	7 5	1 0 6	7 5			
	8 0	1 1 1	8 0			
	8 5	1 1 6	8 5			
3 L	7 0	1 0 2	7 0	1 1 0	2 3	1 8 0以上 9 9～1 0 5
	7 5	1 0 7	7 5			
	8 0	1 1 2	8 0			
特寸		上記サイズに著しく相違するものに限る。(別途採寸)				

許容差 (+2、-1)



活動服生地材料仕様

項目		性能	試験方法
品名の例示		・ 帝国繊維(株) TS82CM 又は TT148 ・ 東レ(株) PE2418WTS	—
混紡率 (%)		メタ系アラミド 75 (±3) パラ系アラミド 5 (±3) 吸水速乾ポリエステル 20 (±5) 導電性繊維 1 (以下)	JIS L 1030
番手	タテ	40/2s	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	40/2s	
組織		平織 (ヨコ部分二重織)	JIS L 1096 A 法
密度 (本/2.54 cm)	タテ	65 以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	55 以上	
質量 (g/m ²)		180 以上 210 以下	JIS L 1096 A 法
引張強さ (N)		タテ	800 以上
引張強さ (N)	ヨコ	700 以上	JIS L 1096 A 法 ラベルドストリップ法
引裂強さ (N)	タテ	35 以上	
引裂強さ (N)	ヨコ	30 以上	JIS L 1096 D 法 ペンジュラム法
寸法変化率 (%)	タテ	2.5 以下	
寸法変化率 (%) 燃焼性	ヨコ	2.5 以下	JIS L 1096 D 法
	残炎時間 (秒)	1 以下	
燃焼性 帯電電荷量 (μ c /m ²)	余じん時間 (秒)	1 以下	JIS L 1091-1992 A-4 法
	炭化距離 (cm)	10 以下	
	7 未満	JIS L 1094	
染色堅牢度 (級)		洗濯	4 以上
染色堅牢度 (級) ピリング (級)	摩擦 (乾)	4 以上	JIS L 0844 A-2 法
	汗	4 以上	JIS L 0849 II 型
	耐光	3 以上	JIS L 0848
	4 以上	JIS L 1076 A 法	JIS L 0842 第 3 露光法
限界酸素指数		28 以上	JIS L 1091 E 法 (E-2 号)
吸水速度		15 秒以下	JIS L 1907 滴下法 (裏面)
拡散性残留水分率		10%以下 (測定時間 60 分後)	※欄外に記載
染色方法(メタ系及びパラ系アラミド)		原液着色 (一部、綿染め可)	—

※20℃×65%RH 下の雰囲気中で試料 (裏面) に約 0.3ml の水を滴下させ、各時間毎に重量を測定し、拡散性残留水分率を算出する。残留水分率(%)＝各時間の水分量(g)×100／滴下直後の水分量(g)